

## ワクチン接種3回目から約1年半…コロナ抗体価はどれくらい残っている？ 検査してみると…8/1 Bss 山陰放送



新型コロナ感染がここに来て急増しています。

そこで今回、ワクチン3回接種済みの記者2人が抗体測定検査を受けてみました。最後のワクチン接種からおよそ1年半が経過。コロナウイルスと戦う抗体は果たして、どれほど残っているのでしょうか。

**島根県 丸山達也 知事**

「現状のまま感染が拡大しますと、医療ひっ迫も懸念されるところであります」

7月28日、島根県の丸山知事は、コロナ感染者が去年11月に迫る勢いで急増していると危機感を露わにしました。

島根県のクラスター発生状況を見ると、年末からの第8波収束以降は落ち着いていましたが、今年7月に入り、年始に迫る勢いで急激に増えていることが分かります。

新型コロナの感染が再び増加傾向にある中、今回BSS山陰放送の記者2人（いずれも20代）、小崎記者と土江記者が受けたのは、新型コロナの「抗体測定検査」です。

「抗体測定検査」とは新型コロナワクチンの接種などによって感染や発症、重症化を防ぐ中和抗体が体内にあるかどうかを少量の血液で測定できる検査です。つまり、抗体価がどの程度か確認したい、現時点でワクチンの効果を確認したいという人などが受けるものです。

小崎記者、土江記者の新型コロナのワクチン接種歴はこうです。

**小崎記者の場合**

【1回目】2021年7月3日

【2回目】2021年7月31日

【3回目】2022年2月19日

## 土江記者の場合

【1回目】2021年7月4日

【2回目】2021年8月1日

【3回目】2022年3月11日

最後のワクチン接種から、それぞれおよそ1年半が経過。コロナウイルスと戦う抗体価は果たして、どれだけ残っているのでしょうか。

抗体価検査から5日後、注目の結果が返ってきました。

### 武本クリニック 武本祐 院長

「小崎さんは結果を見ていただいた通り、陰性でした。土江さんは陽性ですが、ほとんど陰性に近い結果でした。よって、お2人とも、発症予防効果に関しましては、現時点では無いと思われま

す。また、この結果から見て2人とも半年以内のコロナ感染歴は無いことも分かります」

小崎記者、土江記者ともに新型コロナウイルス抗体は、すでにほとんど持っていないという結果でした。

この検査では、抗体の値が4160を超えると95%の確率でウイルスから体を守る十分な抗体があると考えられます。

ちなみに6350を超えれば99%、3200なら90%、2150なら80%という目安ですが、小崎記者はわずか「0.8」。土江記者も「3.3」という結果に。

つまり、2人の体にはほとんど抗体が存在しておらず、現時点では発症予防効果が無いとい

### 武本クリニック 武本祐 院長

「発症予防効果に関しては、コロナワクチンの接種後、だいたい3か月～5か月で徐々に低下して、6か月くらい経つと、確率的には発症予防効果としてはかなり低くなっていくという考え方が一般的です。

逆に重症化予防に関しては、もう少し効果は持続すると言われてい

ます。第8波に迫る勢いで感染が広がりつつあるコロナ。ワクチン接種に関しては、高齢者や基礎疾患を持っている人、医療従事者など、自分の置かれている状況に応じて、かかりつけ医と相談しながら考えてほしいということです。